

2024 第 67 号

千葉支部だより



J・A・C



令和 6 年 10 月発行

発行元（公社）日本山岳会千葉支部
〒290-0011

市原市能満 1261-5 三田方

発行者 三田 博

編集者 小川 和敏

E-Mail cib@jac.or.jp

（表紙の絵）

青い山脈（弘前にて）

水彩画 小菅 一弘

これからの予定と「ユース千葉」について

支部長 三田 博

猛暑も終わり、秋山がスタート。2024 年度も後半戦です。支部の年度計画とこれからの主な予定をおさらいしておきます。

○房総の山復興プロジェクトとして、今年も登山道整備を 11 月からスタートする予定です。日程等については、支部メール等でご連絡します。

○青少年野外活動支援として、袖ヶ浦市の 5 中学校の登山ボランティアをおこないました。お手伝いいただいた方、お疲れさまでした。また晴香園の児童引率はこれからのあります。よろしくお願ひします。

○11 月 23・24 日に関東 4 支部懇談会を千葉支部主催で行います。多くのお手伝ひを必要としています。また、今年度は年次晩餐会記念山行を、本部山行委員会と共同で千葉支部がおこないます。ぜひご参加ください。

○初級登山教室、クライミング教室は無事終了しました。講師を務めた方々お疲れさまでした。参加された方は使用したテキストを読み返して実戦を積み重ねて経験としましょう。テキストは初級者向けとはいえ JMSCA が作成した最新の登山技術をまとめたものです。1 冊 1,000 円にて販売します。

○JAC120 周年記念の古道調査（鹿野山古道）は、立派な報告書を山口さんに作っていただきました。取り纏めお疲れさまでした。今後 JAC のホームページで公開される予定です。



さて、今年度の総会にて承認された計画の中で、千葉支部ユースクラブの設立を発表しました。支部活動の中で技術を身に付け、より高みをめざす登山を目指してほしいからです。名称は「ユース千葉」です。活動は、「雪山・岩登り・沢登り・バリエーション」をターゲットに登山の総合力を身に付けます。本部・他支部ユースとも交流して、情報交換もしていきたいと思っています。本部ユースの場合は、59 歳までという年齢制限がありますが、当面千葉ユースは年齢制限を設けず「気持ちの若い人」なら参加 OK とします。ワンステップ上の登山を目指したい人の参加をお待ちしています。LINE グループを作り山行の募集や情報交換から始めたいと思います。参加希望のメールをお待ちしています。

[目次]

・山行記録	p 2~3
山梨百名山鳥の胸山 (トノムネヤマ)、新緑に萌える高原山、静謐な里山・大平山、	
・2024 年度 初級登山教室のレポート	p 4~5
・クライミング教室の実技レポート 小川山	p 5
・晴香園との共同山行 中田 彩、香高 真奈美	p 6
・山行記録	p 7
美しい稜線・花の白馬岳	
・群馬支部10周年 三田 博	p 7
・大房岬ガイドンス山行 三田 博	p 8
・山行記録	p 8~9
四国山行・きつい石立山、三ツ峠からの富士	
・こんにちは 小栗山 大介	p 9
・あの日の山 一奥又白池に魅せられて一 山本 哲夫	p 10
・山行記録	p 11~12
東北一的美溪・前川滝大沢、憧れの燕岳から大天井岳へ、利尻山と礼文島	
・山の日ビールパーティ 三品 京子	p 12
・ウォーキングクラブ報告 宇津木 仁典	p 13
・支部山行の予定	p 14~15
・事務局からのお知らせ	p 16

2023 年 4 月からは全ての会友の期間は 2 年間とする。(現在入会している会友は 2025 年 3 月まで)
会友の期間終了後は会員もしくは準会員を選択してもらおう。なお、70 歳以上の会友は特別会友として対象外とする。また、70 歳以下でも山岳活動の講習等ができる方も対象外とする。

(年齢は 2025 年 3 月末時点とする)

山梨百名山 鳥ノ胸山 (トノムネヤマ) 齋藤 米造

山行日：5 月 19 日 (日) 曇り
参加者：L 今井貴朗、中田 彩、末吉千穂美、齋藤米造
タイム：道の駅どうし 8：55→鳥ノ胸山 10：40→
11：05 雑木の頭 11：30→道志の森キャンプ場
12：20→道の駅どうし 13：30

江戸時代「殿ムレ山」と呼ばれた鳥ノ胸山 1207m。丹沢山塊の西端、山梨県道志村。「道の駅どうし」を起点とする周回コース。山頂前後の急登・急下降があり、小さな双耳のとんがり帽子のような山容だ。山頂から直線距離 30 km 西南西に富士山が霞んで浮かび、山中湖へ続く「道志みち」が美しい。少し下った雑木の頭で昼食。950m 地点で 20 本ほ



どの栓がニホンジカの食害で樹皮が食べられていた。「シカが日本の自然を食べつくす」と訴える環境省。解決する方法は？

下山途中、リーダーお勧

めの本と喫茶「もくめ書店」に立ち寄り贅沢な時間を過ごした。道の駅からのアプローチも短く手軽に登れる良い山だった。



50 歳未満は、千葉支部への入会金と年会費 2 年間分を免除します！

千葉支部への入会には経験・年齢の制限は設けていません。身近な人で登山経験者や登山を始めてみたい方がいましたらご紹介ください。入会希望者向けの「ガイドンス山行」に参加できます。日本山岳会への入会もご相談に乗ります。特に若い方が入会しやすいように、50 歳未満の新入会員は入会金 1,000 円と 2 年間の年会費 (正会員 1,500 円又は会友 3,000 円) を免除します。

新緑に萌える高原山

今井 貴朗

山行日/天候：5月24～25日（晴れ）
参加者：CL 小川和敏、SL 三品京子、平出正美、斉藤和紀、
宇津木仁典、渡部孝雄、羽藤美代子、今井貴朗（計8名）

タイム：

1日目：鳴虫山登山口 10:50→小休止 11:15→神ノ主山頂
11:33/11:43→登山口駐車場 12:30
2日目：大間々登山口駐車場 9:35→稜線上小休止 10:05→
神社 10:28/10:40→剣が峰 11:02→山頂前急登
小休止 11:25/11:30→釈迦ヶ岳山頂 12:30/13:30
→急坂終点 13:55/14:05→矢板最高点 15:50→
登山口 16:50

初日は車2台と電車で10時半に東武日光駅に集合、鳴虫山登山口から神ノ主山を目指す、足慣らしにちょうど良い感じ。山頂は見晴らしは無いものの静謐な木々の間で心休まる。日光は外人客も多く、山頂ではスイスから来た女性ソロと出



逢いしばし歓談、出逢った登山客はこの一人で本当に静かな山でした。下山後は昼食に蕎麦の名店で蕎麦フルコースを堪能した後



輪王寺（徳川家光墓所）等観光を楽しんだ。

翌日はいよいよ高原山へ。駐車場には9時半近くに到着しラッキーにもギリギリ駐車場所確保出来た。ヘアピン連続の山道を30分近く走行したので少し眩暈が(笑)。軽く体操して見晴らしコースを進む、新緑の木々の森を歩くのが気持ち良い。木々が途切れるといきなり展望がひらける稜線上へ、5月の風が吹き抜ける。稜線をしばらく歩き登山道に石が目立つようになると程なく八海山神社着。風雪で社は崩壊しているが、遠くまで新緑の絨毯が広がる景色は見事だ。



気合を入れ直して登山道のアップダウンを楽しみながら進むと岩混りの急登が目前に、この難所を攻略するともう頂上だ。今日は快晴に近く、頂上からの360度のパノラマがご褒美、時より吹く春の微風が

気持ちを和ませてくれる。それにしてもこんな穏やかな山頂は久しぶりで、景色派には堪えられない絶景と併せて最高の一日を過ごす事ができた。



静謐な里山・大平山

今井 貴朗

山行日/天候：6月15日（晴れのち曇り）
参加者：L 今井貴朗、成田智彦、中田彩（3名）

タイム：伊東駅（9:30）→公園内登山口（10:10）
→尾根途中休憩（11:00）→大平山頂（11:35）
→芝生広場 11:55/12:25→四辻（13:00）→
柏峠（13:25）→馬場平（13:55/14:05）→車道
合流（14:30）→伊東駅（15:10）

梅雨入り前の蒸し暑い東伊豆・伊東駅に降り立ち空を見上げる。雲間に青空が見えもう夏を感じる中、登山口の丸山公園へ歩を進める。丸山公園の階段を上り詰めた登山口に着く頃には、もう汗びっしょり。登山口から伊東の街並みを見下ろし、ゆっくり登り始めるが思いの外



急坂が堪え。休み休み大平山頂に何とか辿り着き、汗をぬぐい駿河湾の風景を楽しむ。芝生広場に移動し、そよ風の吹くランチタイムは話も弾む。森林の中をショートカットして尾根道に戻り、アップダウンを繰り返しながら辿り着いた草原の丘から絶景のご褒美、駿河湾がゆったりと広がっていた。



● 2024年度 初級登山教室レポート ●



第1回初級登山教室 「山の装備とマナー」

机上教室 5月4日 場所：ヨシキスポーツYYルーム 14:00～16:00
 参加：受講/加藤剛、灘信宏、梶田義弘 スタッフ/松田宏也、小川和敏 (5名)

テーマは「山の装備とマナー」だが、最初の教室なので、山とは？あるいは山登りとは？というザックリとした概念についての話から始まった。自己紹介においても、山歴とか好きな山とかを中心に。前半は、山の事故の実態、山の平地との違い、登山で肝に銘じることなどが話され、後半は、登山のマナー、登山用語、登山用具、登山計画に関して討議となった。「※頂上は折り返し点、ゴールは我が家なり！」(小川 和敏)

実地教室 房州アルプス～鎌倉街道 山行日/天候：5月5日(快晴)
 参加者：加藤剛 スタッフ側/三品京子、宮崎美智代、平出清美、小川和敏 (5名)

5月4日の第1回初級登山教室の翌日の実技講習として5月6日(祝)「千葉・房州アルプス」山行に参加させて頂きました。小川さんをリーダーに講習参加者からは私加藤1名のみ。三品さん、宮崎さん、平出さんが参加してくださり、リーダーと先輩に温かくご指導いただく機会となりました。



館山自動車道君津PAに2台の車で一旦集合。梨沢区公民館に移動して1台をデポ、房州アルプス入口まで全員で移動していざ登山開始です。房州アルプスを時計回りに回るコースです。連休最終日にも関わらず途中でであった登山者は1名だけ。10時には無実山、鎌倉古道の入り口には10時40分に到着。ペースはヤマップの標準に比べて120%のやや早いペースです。三浦三良山を過ぎたところに俳優の石丸謙二郎さんがボランティアでチェーンソーを駆使して「房州の山復興プロジェクト」のお手伝いをいただいた時に作った「石」「丸」が刻まれた丸太の腰掛けのところでランチタイム。随所にプロジェクトでの山道復興のご苦労が垣間見られて三品さんからは都度様子を伺うことが出来、気持ち良い山行ができるのもお陰様と感謝。(加藤 剛)



第2回初級登山教室 「読図と地図アプリ」

机上教室 6月1日 場所：ヨシキスポーツYYルーム 14:00～16:00
 参加：受講/梶田義弘、三田芳江、灘信宏、横江紗也香 スタッフ/山口文嗣、三田 博 (6名)

山岳遭難の4割は道迷いが原因。読図がしっかりできれば道迷い遭難事故の予防ができる。登山に地図がなぜ必要かという、①現在地の確認 ②この先のルート想定 ③ルートの維持だからだ。実際の地形図を使い、地図記号、尾根と谷とコル、等高線の見方など学習する。地図に歩行ルート、尾根線と沢線、標高の記入、地図携行の方法など具体的に教えた。コンパスの使い方を教えたが、これは何度も自分で忘れないようにやり方を身に付ける必要がある。最後に地図アプリ「ジオグラフィカ」の使い方を学んだ。実際の登山では必ず紙の地図とコンパス、地図アプリを使って山歩きをしてほしい。翌日の実技講習は高尾方面を予定していたが、雨予報のために中止した。(三田 博)

第3回初級登山教室 「山の天気」

机上教室 8月3日 場所：ヨシキスポーツYYルーム 14:00～16:00
 参加：受講/灘信宏、梶田義弘、清宮政宏 スタッフ/松田宏也、山本哲夫 (5名)

去年は24インチテレビを持ちこんだ教室でしたがプロジェクター利用で大画面を使えました。
 山の気象入門前半 (松田 宏也) 基礎から学ぶ山の気象 日本山岳会気象講習用資料を使い、山の危険から気象遭難の要因、気象遭難の危険を回避する方法と気温・風速・降水量、稜線前後判断基準提示、山の天気アプリの紹介でした。
 山の気象入門後半 (山本 哲夫) 山のスライドショーを楽しみながら気象を学ぶ。今回は強風、特に2019年9月台風15号の前日の様子、天気図・衛星、台風の東側強風域での房総高岩山と富山の被害映像を加えました。実際の山は、強風の佐渡金北山、強風の鹿島槍ヶ岳、低気圧接近羊蹄山、他に富山県未曾有の豪雨災害体験は近年頻繁に発生している豪雨災害の真ただ中の登山の危険性と火山噴火災害も盛り込んでみました。

【 受講者の感想 】

第1回初級登山教室 机上教室 5月4日 「山の装備とマナー」 (灘 信宏)

山登りを始めて1年ほど。何となく自己流で登ってきた。ヒヤリとする場面もあり、ちゃんと教わりたい。先ずは松田さんの登山教室を要約すると『肝に銘じる！ 頂上は折り返し点、ゴールは我が家なり！』大切な話を聴くことができた。

- ① 山は人間にへつらってくれない。
- ② 緻密な計画を作り、確実な一歩無くして安全なし。
- ③ 基本を守り、トレーニングと四季を通じた山行日数、一歩上の目標設定で技術とリーダー力は高まる。

続いて小川さんの登山教室。先ず、ご自身のリーダー体験談がとても参考になった。また、何故山側で待機するか？ 山小屋に3時までに着く理由は？ 登山用語で田部井淳子さんの山の単語帳の紹介等興味深い話が満載だ。

遭難は標高に関係なく低山の方が多いそうだ。千葉の山は作業道や切れ落ちた所が多く、ハイキングに来たつもりが道に迷い、焦り、滑落する。身近な山で遭難が多いのに驚いた。あっ言う間に2時間が過ぎた。充実した内容で参加出来て本当に良かった。次回もぜひ参加したい。

第3回初級登山教室 机上教室 8月3日 「山の天気」 (清宮 政宏)

「山の天気」の講習に参加しました。半分くらいは既に知っていた内容で、もう半分は自分にとって新たにという内容でした。天気は安全な登山をするうえで重要なものではありませんが、今はスマホ等で、天気図や数日後までの予報、さらに雨雲レーダーまで見ることができ、便利になったものだと思います。

講習に参加しながら、大昔はラジオを聞きながら、山の中で天気図を書くのは当たり前で、自分はそれが好きで、まあまあ得意でもあったのですが、最後に書いたのはいつだったかと、ふと考えてしまいました。

山の中では天気が良いに越したことはないものの、晴ればそれでよし、というわけでもありません。私は長く山スキーをやってきましたが、雪山のなかでは、晴れて気温が高くなれば、凍っていた岩・石が緩み、落石のおそれがあるルートもあれば、雪崩れの可能性が高まる場合もあります。そのような危険な処はなるべく避けるようにしているものの、どうしても通らざるをえない時は、なるべく午前中など早めに、迅速にと、時間との勝負にもなってしまいます。

最近日は帰りばかりで、天気が気になる時にはそもそも山に入らないのですが、山歩きは天気に十分留意しながら、なくてはならないと、改めて思いました。

● クライミング教室の実技レポート ●

2月13日の机上教室から始まったクライミング教室が実技教室に移り、技術的にどんどん向上しているメンバーもチラホラと。講師役平野直子役員の丁寧な射的指導の賜物と思われまふ。

第5回教室・小川山でのクライミング講習

6月22日(晴れ)

参加者：平野直子(講師)、三田博、三田芳江、三品京子、上條誠一郎、横江紗也香、宮崎美智代(7名)

全5回のクライミング講習の集大成は小川山で行いました。まず、8の字結びやカラビナの向きなど、前回講習から1ヶ月経つと記憶が曖昧になっていたのも、お互いに基本を丁寧に確認しあいました。

一本目の洞穴エリア西 Wake up! (グレード5.7) は、トポによるとウォーミングアップに最適とのこと。前回までに習った、自分の足を信じてぐっと体重をかけて重心移動することを意識して登りました。

講師の平野さんからは、初めの頃からずいぶんレベルアップしたと講評をいただきました。私自身としても、自分の足を信じて、下半身の力で登ることを意識できるようになった気がします。講習後は山菜取りと地場食材の買い出しへ。それぞれ贅沢な食材を手に、満足顔で帰路につきました。(横江 紗也香)



登りたいけど登れない、だから登れるようになりたい！ コツコツ努力するしか道はないんですね。教室は終わりましたが、これからはジムでも外岩でも機会を見つけてバンバン登りましょう！ (三田 博)

クライミングでは目指すルートの観察力、岩に応じた様々な体の使い方ができる筋力、柔軟性、バランス力、そして諦めない気持ちが必要だと思いました。クライマーとビレイヤーの信頼関係、応援の声掛け等、技術の習得以外にも学ぶ事が多かったです。いつも明るく楽しく導いて下さった平野さん、一緒に学べた皆さんに感謝です！ (三田 芳江)

● ● 晴香園との共同山行 ● ●

公益事業として、晴香園との共同山行が引き続き行われています。子どもたちの元気な様子に大人が活力をもらうような、そんな行事になっています。

晴香園山行 鎌倉アルプス (大仏コース)

山行日/天候：6月29日 (曇りのち晴)

参加者：晴香園 (児童4名、引率職員2名)、L 三木雄三、香高真奈美、今井貴朗、中田彩 (10名)



北鎌倉駅を9時45分に出発。混雑する北鎌倉街道を南に進み、圓應寺へ。十王を巡りながら死後の審判を学ぶ。悪いことしたら閻魔様から地獄行きを告げられる。子どもたちも神妙に解説を読む。

亀ヶ谷切通など鎌倉らしい道をずんずん進む。朝早かった

ので、11時過ぎに昼食。トンネルのそばで風が心地よい。

急坂を詰めると宇賀福神社 (銭洗弁財天)。ざるに100円玉を入れ水で洗う。生涯お金に困りませんように。子どもたちは延々洗い続ける。珍しい体験だったのね。

さらに登り、源氏山公園へ。ここから先は山道。最初は心地よい尾根道、海も見える。その後は昨夜の大雨の影響で、蚊&ぬかるみ&ツルツル滑る下り坂、とかなりの難度。声かけあって、時には転びながら進む。子どもたちは転ぶのも上手で、尻餅つかない。さすが。

小一時間ほど歩き、ようやく高德院 (鎌倉大仏)。ドロドロになった手足を洗い、大きくておおらかな大仏さまに癒されたところで、14時解散。今回も子どもたちと一緒にたくさん楽しんだ山行でした。晴香園のみんな、ありがとうね。(中田 彩)



晴香園山行 日原鍾乳洞

山行日/天候：8月23日 (曇り時々晴れ)

参加者：晴香園 (児童3名、引率職員2名)、L 香高真奈美、中田彩、今井貴朗、能美勝博、國宗文 (10名)



夏休み中のハイキングなので「涼しい所」奥多摩の日原鍾乳洞を選んだ。宿題の自由研究にもなる。バスの終点から徒歩30分、一石山神社の境内にてお弁当タイム、嬉しい時間そしていよいよ洞へ。

洞窟と鍾乳洞の違いの説明を受けて入り口。吹き上げてくる寒〜い風で歓声があがります。「1200年前に見つかったんだって!」とRちゃん。「コウモリが飛んでる!」とHくん。洞の中はアップダウン有り、石からは水が滴る。

中三で参加のRuは職員さんと二人で縁結び岩に深々とお参り。それぞれに楽しんでくれているようだ。そして飛び出している岩を見て「頭上注意!」と声掛けまでしてくれる、頼もしい。

前回の鎌倉の時には高校生のSちゃんが参加していた、「大仏見たかった」と。マウンテンクラブ卒業生だけあって山歩きをゆったりとたのしんでくれていた。

大きくなって山と繋がってってくれるのが嬉しい。(香高 真奈美)



美しい稜線・花の白馬岳 末吉 千穂美・横江 紗也香

山行日／天候：7月13～14日（晴れ、曇り後雨）
 参加者：CL 今井貴朗、SL 三品京子、中田彩、
 末吉千穂美、横江紗也香（5名）

タイム：

13日： 梅池自然園 7:00→天狗原分岐
 8:30→白馬乗鞍岳 10:00→大池 10:45→
 船越の頭 12:00→小蓮華山 13:15→
 三国境 14:10→白馬岳 15:10→白馬山荘
 15:30
 14日： 白馬山荘 5:44→白馬岳 5:55→三国境 6:30→
 小蓮華山 7:08/7:15→大池山荘 8:22/8:40→
 乗鞍岳 8:57/9:20→天狗原 9:46/10:40→梅池
 自然園登山口 10:36/11:45
 ＊14日のタイム表記は小蓮華以降（A班／B班）

1日目：梅池高原よりゴンドラ、ケーブルを乗り継ぎ梅池自然園登山口へ。当初の予報がはずれ青空の覗く好天でのスタートとなった。

天狗原からは雪を残した山の斜面、青々と茂る草が美しく広がる。そこからは2班に分かれそれぞれのペースで進む。途中の小さな雪渓はキックステップで慎重に登る。白馬乗鞍岳の三角のケルンを過ぎると大池と山荘の赤い屋根が見える。澄んだ大池にはたくさんのサンショウウオが元気に泳ぎ回っていた。ゴロゴロとした歩きにくい岩の上やザレた道を歩き続ける。高度も上がり体が重く感じ息も上がる そんな中で雷鳥が姿を見せてくれた。人を怖がる様子もなく暫く留まって私たちの撮影に応じてくれた。



船越の頭、小蓮華山からは美しい稜線が続く。三国境迄来れば白馬岳まではあと少し、青いウルップソウも初めて見ることができた。白馬岳山頂ではあいにく白くガスが

広がってしまったが、早く白馬山荘に着きたい気持ちでいっぱいだった。（末吉 千穂美）

2日目；白馬岳登山2日目は、午前中から雨になるという情報により、6:30の予定を早めて出発しました。私は10時間近く寝て、朝食をたくさん食べて元気いっぱい、皆も元気そうです。

山荘を出て、白馬岳山頂で全員で集合写真を撮ったあと、三国境からは1日目と同じく、三品さん・横江と、今井さん・中田さん・末吉さんの2組に分かれて、各々のペースで下山しました。同じ道でも前日とは違う印象の景色を楽しむことができました。一番印象的



だったのは白馬大池で、前日は青かったのに今日はグレー色で、まるで違う池みたいでした。どちらも山並みと真っ赤な大池山荘が映って美しかったです。

大池山荘を過ぎたあたりで雨が降り始め、2時間ほど岩場の多い道や雪渓を本降りのなか歩くことになりました。不安定で滑りやすい岩を疲れた足腰で歩くのは難しかったです。無事怪我なく下山できました。待ち合わせ場所の梅池ゴンドラ乗り場には、きれいなお休み処があり、着替えたり山小屋から背負ってきた昼食用のお弁当を食べたりと、休憩しながら後続の3人を待ちました。1時間ほどして3人が合流され、皆でタクシーで白馬駅まで向かいました。

タクシーの運転手さんから、大縦走したお客さんを乗せたお話を聞いて、登山のスケールは無限大だな～と感じました。次の山行でまたステップアップしたいです。（横江 紗也香）

● 群馬支部設立10周年記念式典に参加 ●

群馬支部の設立10周年記念式典が6月29日、群馬県高崎市のゴルフ場クラブハウスで行われ、松田前支部長と私が出席してきました。式典には、橋本しをり会長や群馬県の山岳・スポーツライミング協会や勤労者山岳連盟の重鎮が多数参加されました。記念講演は、元日本山岳協会会長の八木原園明さんの「群馬支部設立の頃」という演題で、2013年に会員20名で支部を旗揚げした当時の事をユーモアを交えて話されました。支部設立に必要な会員数は20名以上が必要で、ぎりぎりの人数だったそうです。我が千葉支部も同様であったでしょうが、本当に無から組織をつくりだすご苦労が分かる講演でした。

ちなみに現在、群馬支部は74名の大所帯になり、群馬

の山岳団体と連絡協議会を結成して県境稜線トレイルの整備や共同イベント、ガイド本の発行、支部独自で市民向け「健康登山塾」の開催など精力的に取り組んでいます。（三田 博）



● 大房岬でガイドンス山行 ●

7月20日(晴れ)

参加者：L 三田博、灘信宏、杉原順子、清宮政宏(4名)

関東も梅雨明けして本格的な暑さになった。殺人的な日差しだが、海沿いならば少しは涼しいかもしれない。今回は最近会友になった3人の方と大房岬自然公園内を歩いた。公園内は、地形図にも載っていない道がたくさんあり少し分かりにくい。第2展望台の脇から急坂を下りて弁財天の洞窟を見学。要塞跡などを回りながら、JAC や千葉支部について説明する。とにかく暑いのと時間の関係で午前中だけで終了したが、要塞跡などじっくり見学すると面白いかもしれない。(三田 博)



四国山行・きつい石立山

三田 芳江・宮崎 美智代

※個人山行

参加者：L 小川和敏、三品京子、宮崎美智代、三田芳江(4名)

山行日/天候：7月20日(晴れ)

タイム：四国の道入口 9:00→横倉山 10:40→横倉宮 11:20
→杉原神社 12:00→駐車場 12:45

四国山行の第一弾は朝ドラで話題になった植物学者の牧野富太郎博士が研究のフィールドにしていた四国百名山の横倉山。前日、牧野植物園で見た横倉山で発見された「ヨコグラノキ」「コオログラン」などに会えたらいいなと思い



ながら、蒸し暑い四国の道を登った。暫く行くと、土佐の国唯一の修験道の霊場に相応しい急峻な岩場が現れた。鎖が古そうだったので、巻き道で兜嶽石鎚神社に出た。なだらかな道が続き、展望の無い横倉山(776m)に到着。しっかり給水しないと熱中症になりそうな暑さだ。ここまで誰にも会わなかったが横倉宮に向かう途中で一

組のハイカーとすれ違った。横倉宮は日本最古の4億年前の石灰岩からなる高さ80mの断崖の上に建つ安徳天皇を祀った神社だ。「馬鹿試し」と呼ばれる断崖の先端を覗いて見た。ここに「ヨコグラノキ」があるはずなのに見つけられなかった。参道を下り、杉原神社へ。社殿を取り囲むように立つ推定樹齢600年の大杉が素晴らしい。杉の巨木にパワーを頂き、駐車場へと向かう道の傍らに「コオログラン」を保護するロープが張られた場所があった。花が見られないのは残念だが、確かにここに自生していると実感。歴史と伝説の山を楽しんだ。(三田 芳江)

山行日/天候：7月21日(晴れ)

タイム：別府峡登山口 6:30→竜頭谷 7:30→岩場 9:00→西のピーク 10:00→石立山 11:05→12:00→西のピーク 12:30→岩場 13:30→竜頭谷 15:00→登山口 15:45

石立山の登山口に6:15。四国一きつい山だからか、この

暑さのせいなのか、広めのパーキングには車1台しかなかった。準備をして6:30登山開始。別府峡に架かる赤い吊り橋を渡るとすぐに急登が始まった。竜頭谷の手前で少し下り徒渉すると後はほぼ上りのみ。足場の悪い岩場をしばらく行くが誰にも合わない。途中見晴らしの良い開けた場所で一休み。下を見下ろすとパーキングが真下に見え直登しているのがよくわかった。行く先を見上げるとこれからの岩場はさらに足場が悪く両端も切れ落ちている。ストックをしまい両手を使いながら登る。岩場を無事に過ぎるが西のピークまでは所々急登が続いた。西のピークではYさんの希望で捨身ヶ獄に寄った。名称に因んだスリルを体験したがお陰で素晴らしい景色に出会えた。そして11:05山頂着。石立山の山頂は平らで広く強い日差しを避けるのに日陰を探した。少し長い休憩をとり、来た道に戻る。岩場に差し掛かるとよくこんなに登ったなと自分でも感心するほど下りの岩場は長く、足や膝に応えた。竜頭谷で初めて人とあったが沢登り組でパーキングに増えていた車は沢で楽しむ人達だったようだ。そして15:45登山口到着。さすが四国一きつい山と言われるだけあり疲労困憊だった。(宮崎 美智代)



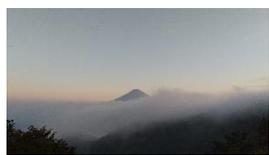
三ツ峠からの富士

東 蒼生

※個人山行



山行日/天候：7月23～24日（晴れ）
参加者：L松田宏也、東蒼生（2名）



三ツ峠に行きました。コースは裏登山道。この日も晴天、猛暑でしたが登山道は木漏れ日の射す日陰だったため、汗こそかいたもののあまり

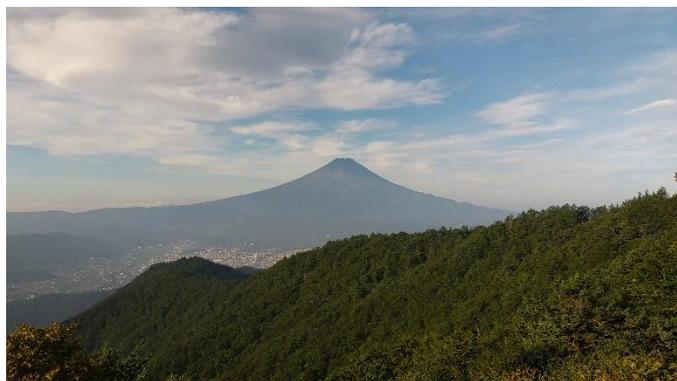
暑さに苦しめられることなく、のんびり登ることができました。1時間半ほどで、三ツ峠山荘に到着。到着時点で富士山は雲に隠れていましたが、夕方に姿を現してくれました。そして、夜はお酒を飲み、美味しい食事をいただきました。

部屋から富士山が見えるのですが、次の日の朝、起きると目の



前に富士山が堂々と見え、詠嘆したのと同時に、改めて富士山の美しさと荘厳さを認識しました。

二日間、静かでゆっくりと時間が流れていき、良い時間を過ごすことができました。何より、山荘は涼しく、朝は肌寒いくらいだったのが良かったです。皆様も三ツ峠に登られた際は、三ツ峠山荘を利用してみてはいかがでしょうか。



♪ こんにちは ♪



はじめまして。小栗山大介(おぐりやまだいすけ)です。出身は大網白里市で、今は東京都千代田区の神保町という街で妻と二人で日本酒バルを営んでいます。

学生時代はずっとソフトテニスをやりましたが、社会人を機にそれを辞め、何か新しいことを始めようと思い立って高尾山に登って見たことが自発的な山との初めての関わりでした。以来、独身時代には主にソロ登山で関東近郊の山、奥多摩や丹沢を歩き、長い休みが取れば槍ヶ岳から奥穂高の縦走や奥秩父主脈縦走を歩いたり、冬の鳳凰三山や八ヶ岳にも挑戦しました。ヒマラヤトレッキングも好きで、ナガルコットからランタン谷、エベレスト街道も歩きましたが、どうもこれまでの僕はトレッキングのような歴史文化に触れるのんびりとした山行が好きなようです。現在はソロ登山もやりますが、それよりも妻や酒場のお客さんと一緒にグループ登山の方が割合多くなっています。



たスペインのサンティアゴ・デ・コンポステラの巡礼路の旅です。約800kmの道をひと月かけて二人で歩く間に、色んな人や素晴らしい景色に出会い、妻と沢山の話をした時間は僕の中で山や自然、文化と向き合う価値観の大きな転換点となるほど忘れ難い経験です。

山岳会との出会いは、お店の常連さんがご紹介下さった松田前支部長から、千葉支部のお誘いを受けたことからです。山行だけでなく登山

道整備も行う山岳会のお話を聞いて、山にまつわる知識や技術を学んで、もっと山に関わりたいたいと思い参加することになりました。会の活動を通して私個人の登山技術の向上だけでなく、グループ登山への理解も深めていきたいと思っています。皆様どうぞ宜しくお願いします。



あ の 日 の 山



— 奥又白池に魅せられて —

山本 哲夫

奥又白池は前穂高の東面下、標高2500m楕円形周囲100mで背後に残雪を抱いた前穂高東面や北尾根4峰の岩場が手の届く範囲に迫っています。静寂で自然が溢れ、贅沢さを味わえるところです。

最初に訪れたのは1970年10月11日、独りで徳沢から新村橋を渡り、奥又尾根の末端、松高ルンゼから灌木帯が抜けた中畠新道へ。細い急な道を左に抜けると視界が開け奥又白池が現れテントも無く人もいなかった。暫く休憩。登ってきた道を戻り前穂沢のガレ場をトラバースし大滝を2つ越えた。落石は3回。4峰中大ルート一回ビレーを取って登った。4峰の頭から前穂高に。途中3峰の凹角岩場が黒光りし滑りそうでした。新村橋から前穂高山頂までクライマーの声が聞こえたが誰にも合わなかった。緊張が解け前穂高から奥穂高まで1時間、奥穂高から涸沢、横尾を経て徳沢まで2時間と少しで戻った。天候は晴れから曇り、翌日雨の中を上高地に、山頂は雪。

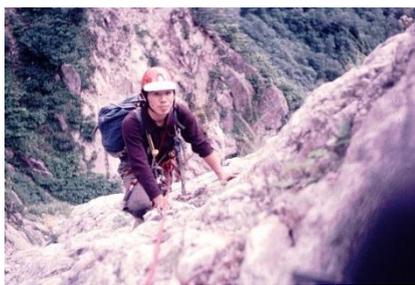


慎重にF1の大滝は左のザレ場から高巻き後懸垂下降で滝上に出た。右側の微妙なフェイスをトラバース



2度目は1971年8月1日-9日、社会人山岳会、先行2名で。大荷物で松高ルンゼを登り奥又白池にテント泊。翌2日、3日分の食料を持って前穂高北壁からAフェイスを経て前穂高山頂へ。吊り尾根・奥穂高・涸沢岳から北穂

高のテント場へ。3日、滝谷、落石の巣C沢を下降し4尾根を登った。北穂南稜を下り涸沢経由で横尾にツェルトを張った。4日、横尾山荘でリンゴを補給、新村橋から中又白谷へ。洗濯後、花崗岩の大滝は高巻き、300mのスラブ、小滝600mで奥又白池の水場に飛び出た。奥又白池に山岳会員が続々と集合。5日、雨後晴れ、全員で中又白谷大スラブまで下降、岩茸狩り。6日雨風強く停滞、台風上陸したようだ。夜星空。7日、4峰集中登山後明神に。8日、明神岳5峰を登り谷を懸垂2回で下降、明神に。9



日、カメラと水食糧を持ち徳沢から大滝山往復4時間。

3度目は1973年8月10-15日。10日、直接中又白谷を経て奥又白池に。荷が重く

慎重にF1の大滝は左のザレ場から高巻き後懸垂下降で滝上に出た。右側の微妙なフェイスをトラバースぎみに上り、大岩はショルダーで越した。小滝から右のルンゼに入ってチムニーを登ると花崗岩の真白な大滝景観にひたり大休止。大滝から大スラブを登って奥又白池着16時30分。後発メンバーも中又白谷を登って来て合流。全員合流するとツェルトが不足、星を見ながら野宿。11日、甲南ルート核心部はバンドフェイスとオーバーハングだけ、上部からの落石注意。中大ルート下降、右岩稜登攀を中止してC沢を下降、奥又白お花畑大岩の上で夕暮れまでのんびり過ごしこの日も大地と星空のもとで。12日、前穂北壁Aフェイス-A沢、中畠新道下降全員横尾に。13日、屏風岩-ルンゼ、手ごわい核心部を越えると傾斜は緩くなってガレ場が現れた。右に大きく曲がって300m程度ガレ場が続き落石させないように慎重に。最後は3から4級の滝、ぐずぐずの垂直フェイスで終了。パノラマ新道を涸沢へ。14日、屏風岩中央壁で全員トレーニング後横尾に。15日、下山。

奥又白池、もう一度、残雪に咲き始めた高山植物の初夏が撮影に良さそうです。好天のチャンスを期待して。



東北一の美溪・前川大滝沢

三田 博

※個人山行



山行日/天候：8月3日（土）～4日（日）晴れ
 参加者：L 三田博、平野直子、横江紗也香（3名）
 タイム：入溪地 6：30→前川大滝 7：50→登山道 11：20→
 13：05 駐車地

初日はゆっくり千葉を出て、福島飯坂のスーパーで買い出しして、五色温泉キャンプ場に行く。今年できたキャンプ場で設備はピカピカ、見晴らし良く受付の人も感じのよい若者でした。温泉付きだし、ここはまたぜひ来たいと思いました。

さて次の日は、東北一の美溪と言われる前川大滝沢の沢登り。滑川温泉福島屋の手前に駐車して、すぐの橋から



入溪する。赤茶けたナメから始まりいい感じた。陽が明るく透明な沢に降りそそぎいっそう美しい。その後も滝とナメの連続でまったく飽きない。1時間ほどで前川大滝に着く。落差80mとかの巨大なナメ滝で迫力十分。右岸の明瞭な巻道を登るが、途中かなり怖いトラバースもあった。その後も、登れる滝が連続して楽しい。今回は最後まで行かず、終盤の左俣の支沢の滝を登るとあっけなく登山道に飛び出た。今回沢デビューした横江さんも沢登りがすっかり気に入ったようで、帰りの車内で次の沢登りを計画しながら帰りました。

憧れの燕岳から大天井岳へ

三品 京子

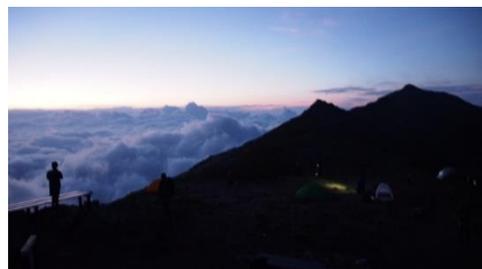
山行日/天候：8月4日～5日（晴れ）
 参加者：L 今井貴朗、末吉千穂美・三品京子
 タイム：8月4日 中房温泉 7：50→合戦小屋 10：30→
 燕山荘 12：10→切通岩 15：00→大天井 15：40
 5日 大天井 5：30→切通岩 5：50→燕山荘
 8：40→燕岳 9：10→合戦小屋 10：50→
 中房温泉 13：10

登山口の中房温泉に前泊、夕食は温泉を使った蒸し料理に盛り上がり美味しく頂く。翌朝、朝食を済ませ登山口に移動し北アルプスの三大急登のひとつの燕岳へ向けて登り出す。人気の山ゆえに登山客が多く若者に道を譲りながらなんとか合戦小屋に到着、名物のスイカをいただく。汗をたっぷりかいた分美味しさ倍増、全員元気を取り戻し燕山荘へ到着、予定より少し遅れての昼食をいただいた。



雲が出てきており予定の燕岳までのピストンは明日に変更し大天井岳への稜線歩きをスタートすることに。右手に北アルプスを眺めながらのはずが雲に隠れ、ここもお楽し

みは明日に歩を進める。穏やかな稜線から蛙岩、大下りノ頭、そして切通岩では難所の鎖場と梯子をクリアし宿へ到着、宿からすぐの山頂は雲の中、夕日は望めない。夕飯はおしゃれな洋食とビールをいただき、たっぷり歩いた一日に足も疲れ早々に就寝となった。

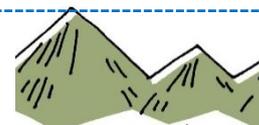


2日目、日の出を見に大天井岳山頂へ登る。風は強いが晴天、今日は大パノラマを見ながら歩けるだろう。昨日は長く感じた登山道も景色を見ながらだと足取りも軽く感じる。予想通り左手には槍ヶ岳・双六岳・鷲

羽岳の美しい山々を眺めつつ燕山荘に着く。ザックをデポし燕岳へ向かう、ザレ場の斜面にはコマクサが一面に咲いており、イルカ岩にメガネ岩などの奇岩を楽しみ燕岳の山頂からは雄大な景色を味わった。中房温泉への下りは黙々と歩き合戦小屋で一息つき、昨日は絶え絶えで登ったことを思い出しながら登山口に到着した。今回の山行、一度は登りたかったコースで今井リーダーが計画をしてくださり実現できました、感謝です。

行きたい山の声を募集します！

ここ数年、支部山行の参加者が固定されている傾向が有ります。出来るだけ幅広い参加者をとの思いから、難度 A の山行を計画するとか、平日の山行を計画するとかいろいろ試行錯誤していますが、なかなかフレッシュな参加者が増えません。「こういった山行をしてほしい」「この山についてみたい」とか・・・何でも良いので、千葉支部の事務局までメール連絡を頂ければと思います。可能な範囲でご希望に沿った計画を立案します。送信先； cib@jac.or.jp



礼文から利尻山へ

三田 博

※個人山行

7月5日(金)～10日(水)

参加者：L 三田博、三品京子、三田芳江、宮崎美智代
 タイム(利尻山)：北麓野営場 5：40→第一見晴台 7：30
 →長官山 9：05→利尻山小屋 9：20→10：55 利尻山頂 11：20→15：10 北麓野営場

利尻山は、別名利尻富士と呼ばれるようにユニーク型の美しい形をした日本最北の百名山です。蝦夷梅雨で天気はいま一つでしたが、計画通りに山頂に立つことができ、一緒に登ってくれた仲間へ感謝です。

《7月5日》ANA 羽田空港→稚内空港、稚内港からフェリーで礼文・香深へ。民宿なのに1泊13,000円とお高め。夕食にちょっぴりウニが出ました。

《7月6日》バスで香深井登山口に移動して、礼文林道コースを歩く。花の百名山だけあって、レブンウスユキソウをはじめエゾカンゾウ、チシマフクロなど高山植物がいっぱい。年輩のハイカーが多かった。久種湖畔のキャンプ場バンガロー泊。

《7月7日》礼文から利尻島へフェリーで渡る。鴛泊港からレンタカーで森林公園キャンプ場バンガローへ。荷物を置いてから観光ドライブ。1時間ちょっとで島内1周。食材購入のために商店など回るが、ドラッグストアが一番安かった。食堂でウニ丼10,000円の看板にビビる。



《7月8日》きょうは利尻山登山の日。霧雨の中、雨具を着て出発。ところどころ登山道がぐちゃぐちゃで歩くのに苦勞する。雲の中なので、森林限界超えても視界もほぼゼロ。それなのに、さすが百名山。山頂(1721m)にはけっこう登山者は居ました。標高差1500m、休憩込み往復で9時間半、ほぼコースタイムで登れました。この日もバンガロー泊。登頂を祝って乾杯。

《7月9日》昼のフェリー時刻まで島観光。小高いピークでも見ると登りたくなるのが山屋の習性。夕陽丘展望台、ペン岬展望台などに登って下界を見下ろす。ついでに姫沼を歩いて1周してみる。船で利尻から稚内に戻り、宿泊するゲストハウス「モシリパ」に荷物を置いて近くを散歩。北防波堤ドームなど見学。居酒屋で晩飯をとるつもりだったが、立ち寄ったスーパーで刺身や酒などいっぱい買ってゲストハウスのリビングで酒盛り。快適すぎて、この日も飲み過ぎました。

《7月10日》楽しかった北海道最北の旅も帰宅の日。稚内駅併設の道の駅で御土産など買い、空港へ。フライトも順調で夕方には家に着きました。飛行機チケットは早割で安く入手。宿泊費もバンガロー、ゲストハウス利用で安く済ませました。高かったのは利尻でのレンタカー代48時間利用で36,630円でした。

● 山の日にはビールパーティ ●

8月11日(日) 参加15名



今年の8月11日「山の日」は連休のど真ん中。それでも、15名の方にお集まりいただき昨年と同じ中華料理店で開催されました。

節田重節さんの乾杯でパーティーはスタート。ビールで始まり、やがては紹興酒を片手に次々と登場する豪華な料理をいただきます。恒例ながら、参加者が順番に近況報告を話し、その話題を肴に大いに盛り上がります。特に、7月末に催行された剣沢山行の「予期せぬ雨中行軍」の参加者からは諸々の感想が発せられ、一番の話題に。楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、予定の時間をオーバーしてしまい最後に三田支部長の挨拶でお開きとなりました。「山の日」は暑い時期なので、低山しかない千葉の山行などは難しいこととなります。来年の「山の日」の企画、皆さんのご意見お聞かせいただければと思います。よろしくお願致します。(三品 京子)



ウォーキングクラブ報告

宇津木 仁典



● 都内「レインボーブリッジ遊歩道」&「東京ベイエリア」ウォーキング

NO24 6月16日(日) 晴れ

参加者＝塩塚生二・新井好夫・梶田義弘・渡部孝雄・黒住清美・坂上光恵・

羽藤美代子・小林ユキ子・平出正美・長谷川博・清宮政宏・L宇津木仁典(12名)

スタート地＝JR 田町駅前 10:00、ゴール地＝ゆりかもめテレコムセンター駅前 15:30。

歩数は約 19,000 歩超、距離は約 12.5km であった。

猛暑月(7月及び8月)は、健康管理上は中止するので、距離数は欲張りコースとなった。

主な立ち寄り地は、レインボーブリッジ南遊歩道→台場公園・砲台跡(昼食)→お台場海上公園(船発着場)→自由の女神像→フジテレビ本社ビル→ガンダム立像→東八潮緑道公園「美神の門→自由の炎」→テレコムセンタービル(20階展望室)→東京臨海高速鉄道りんかい線・東京テレポート駅(解散)

この日ウォーキングコース「レインボーブリッジ遊歩道」は、会員新井好夫さんからの希望提示があり選定した。

スタート地(JR 田町駅前)には、参加者 12 名が集い、そのなかにはウォーキング初対面参加の清宮政宏さんの姿があった。拝顔したところ勇姿(者)を直感してウォーキング同好会に加入していただき心強く感じた。

各々自己紹介後にいよいよ 1 月～6 月(上半期)最終のウォーキングはスタートした。

JR 町田駅前通りからレインボーブリッジ南遊歩道へ、終点近くになったところ小林ユキ子さんから「北遊歩道も展望がいいわよ、まだまだ昼食時間には余裕があるから……どうかしら」と誘いの言葉を頂いて、皆さんが賛同した。

近くでもなく遠くでもない北遊歩道を暫く歩いたところ、一面に並ぶ超高層ビル群見て、皆は一斉に喚声感動!! 北遊歩道への誘いに従ってよかった。芝浦とお台場を結ぶ片道 1.7 キロメートルを東京タワーやスカイツリー、超高層ビル等を眺めながら、歩いてみると見える景色には感動を得たので、ウォーキングは「これで終わり」と宣言したいほどであった。

快晴で夏日に相当する気温上昇のなか、熱中症に留意しながら上記の立ち寄りを經由してウォーキングは更に続いて、最終立ち寄り地のテレコムセンタービルに到着して展望室(20 階)では都心の超高層ビル群を展望した。何故か? 東京湾アクアライン方面の千葉の山々を展望に皆が集まりお喋りがつづいた。

テレコムセンター近くの駅前で解散後は、参加者の大半はテレコムセンター駅からゆりかもめ線に乗車して帰途に向かったが、何人かは心残りがあったのか? それは、お台場海上公園水上船発着場から「水上バス」に乗り、両国リバーセンター(JR 総武線両国駅近く)まで 1 時間程、船上から近くの高層ビル群を眺めて「東京集中」を実感した後は、暑さ忘れて反省会であった。



令和 6 年度 関東 4 支部合同懇談会 (茨城・栃木・群馬・千葉)

下記の通り、関東 4 支部合同懇談会を実施いたします。奮ってご参加ください。

※ 詳細は別途メール連絡

期日：2024 年 11 月 23 日(土)～24 日(日)

場所：内浦山県民の森 千葉県鴨川市内浦 3228 ☎04-7095-2821

講演：「コンビニ登山」の危うさを露呈したトムラウシ山大量遭難

講師：節田重節(元トムラウシ山遭難事故調査特別委員会座長・千葉支部会員)

宿泊：内浦山県民の森『森の宿せせらぎ』 千葉県鴨川市内浦 3228 電話 04-7095-2821

山行：A コース(登山) 烏場山(花嫁街道) CT5 時間

B コース(軽ハイキング) 鶴原理想郷ハイキングコース CT2.5 時間

※参加費 14,000 円 1 泊 2 食(お弁当付き) 懇親会費込み

支部山行の予定

● **山行の心得** — リーダーは、ガイドや添乗員ではありません。

「連れて行ってもらう」ではなく、自主的な意識を持ち参加してください。

リーダーが参加者にそれぞれ役割を振り分けますので、積極的に引き受けてください。参加する前に、山城、コース、交通機関などは地図やガイドブック、ネットなどで十分下調べして下さい。地図・コンパス・筆記用具は、どんな山行でも必ず持って来て下さい。また、山行に見合った登山保険には必ず入って来て下さい。遭難救助付きの保険加入は任意ではなく、すべての登山者の義務です。体調不良者が出れば事故と同じで、山行は中止になり引き返すこととなります。日頃の自主トレーニングも是非行なうようにして下さい。

リーダーの連絡先	
宇津木 仁典	印刷版を参照
松田 宏也	
三木 雄三	
三田 博	
三田 芳江	
平野 直子	
小川 和敏	
三品 京子	
今井 貴朗	
宮崎 美智代	
東 蒼生	
小栗山 大介	

≪ 難度 ≫

- W ウォーキング
- A 整備され歩行 2～3 時間
- B 歩行 5 時間前後
- C 歩行 7 時間前後、一部岩あり体力要
- D 強い体力、岩技術要
- E 高い適応能力要、危険度大

(難度は JAC 日本 300 名山を参考。岩・沢及び積雪期は難度アップとする。)



個人山行も計画書提出を 送信先 ; cib@jac.or.jp

● **山行の申込み**

申し込みは、原則として電子メールで行ってください。その際には下記事項の記入をお願いします。

また山岳保険には必ず加入して来て下さい。

- ①氏名②生年月日・年齢③住所、自宅電話番号、携帯電話番号④緊急連絡先氏名(続柄)、緊急連絡先電話番号
 ※年齢は山行日の年齢です。計画書と違うと保険が効かない可能性もあります。

山行は定員を設けています。また、技術・体力不足、初参加で力量不明の場合はお断りすることもあります。

各山行形態に見合った山岳保険に加入していない場合は、当該山行には参加できません。

山行カレンダー (10月～3月)

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
10月4日(金)～6日	越後・中ノ岳	C	十字峡から、避難小屋泊	三田	9月15日(日)
10月4(金)～5日	一切経山	C	魔女の瞳に出逢う	今井	9月14日(土)
10月6日(日)	東京都文京区	W	小石川後楽園&植物園周辺ウォーク	宇津木	9月29日(日)
10月14日(月)	西上州 高岩	B	岩山ハイキング 3時間、懸垂下降あり	平野	10月5日(土)
10月20日(日)	日向山(尾白川溪谷)	B	天空のビーチと溪谷(山梨)	今井	9月28日(土)
10月20日(日)	日和田山～物見山	A	南関東ブロック合同懇親山行(田部井 淳子氏の本命日) ※支部メールで詳細案内	松田	9月30日(月)
10月20日(日)	百蔵山～扇山	C	参加メンバーによっては百蔵山のみ	小栗山	10月10日(木)
10月28日(月)～29日	鳳凰三山	C	鳳凰小屋泊地蔵岳から反時計回りに 観音岳、薬師岳 中道を下る	小川	9月20日(金)
11月の土曜日のどれか	未定		(公益事業)晴香園ハイキング	香高	

日本山岳会千葉支部

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
11月2日(土)	九鬼山	C	田野倉から登る大月の名山	今井	10月26日(土)
11月17日(日)~18日	愛鷹山(越前岳)	B	沼津泊 最高峰越前岳へ(余裕があれば富士見台まで)	小川	10月10日(木)
11月17日(日)	千葉県内	W	紅葉スポットを巡るウォーク	宇津木	11月10日(日)
11月21日(木)	南会津	B	キノコ山行	平野	11月10日(日)
11月23日(土)~24日	関東4支部懇談会		内浦山県民の森にて開催		
12月1日(日)	御殿山	B	南房総の山	今井	11月23日(土)
12月7日(土)	年次晩餐会				
12月8日(日)	晩餐会山行		鋸山 千葉支部と本部の合同企画		
12月14日(土)	奥多摩・浅間嶺	B	払沢ノ滝から数馬集落へと尾根歩き	小川	12月5日(木)
12月14日(土)	東京都立川市・小金市	W	昭和公園&江戸建物園周辺ウォーク	宇津木	12月7日(土)
12月21日(土)~22日	房総Base忘年会		大掃除と忘年会&近郊ハイク	松田	12月14日(土)
1月4日(土)	郡界尾根から鋸山	B	小保田バス停から浜金谷駅へ	三田	12月31日(火)
1月17日(金)	愛宕山	B	峯岡山分屯基地内の千葉県最高峰	三田芳	11月1日(金)
1月19日(日)~20日	黒川鶏冠山	B	奥秩父の高低差の少ないルートを歩く	小川	12月20日(金)
1月19日(日)	日連アルプス(神奈川)	A	相模湖を望むハイキング	今井	1月11日(土)
1月19日(日)	都内・高尾山	W	薬王院・大本堂初詣ウォーク	宇津木	1月12日(日)
1月26日(日)	岩殿山	B	メンバー次第でお伊勢山までの縦走に	小栗山	1月15日(水)
2月1日(土)~2日	日光スノーシュー	B	戦場ヶ原周辺を歩く	三田	12月31日(火)
2月13日(木)~14日	雪洞作り体験&宴会山行	B	場所は積雪状況をみて決定	平野	1月10日(金)
2月22日(土)	六ツ石山	B	水根から登り石尾根を奥多摩駅へ	小川	2月10日(月)
2月22日(土)	巢曇山	B	富士と相模湾を眺める	今井	2月15日(土)
2月24日(月)~25日	大房岬・洲崎	W	南房総・館山ウォーク	宇津木	2月17日(月)
3月1日(土)~2日	房総Base花見の会		Baseの頼朝桜で花見酒&近郊ハイク	松田	
3月1日(土)	石老山	A	早春の相模湖から石老山へ	宮崎	2月15日(土)
3月7日(金)~8日	伊豆大島 三原山	A	三原山お鉢廻り	三品	2月1日(土)
3月16日(土)	高取山、仏果山	B	丹沢の山並みを眺める	今井	3月8日(土)
3月20日(木)	笠山 堂平山	B	春分の日 比企地域の名峰を縦走	小川	3月10日(月)
3月23日(日)	都内・赤坂	W	街の坂道ウォーク	宇津木	3月16日(日)
3月29日	生瀬富士	C	茨城のジャンダルム	三田芳	3月1日(土)

※ W;ウォーキングクラブの予定が変更になった場合はメンバーに事前連絡します。
メンバー登録はリーダー宇津木さんにメールしてください。

お知らせ

《事務局から》

● 支部年会費の納入お願い

滞納している会員・会友の方が散見されます。支部の運営にとって大切な原資です。是非、納入下さい。
未納者には、支部だよりの配布、並びにメール他での連絡を停止します。

以下がゆうちょ銀行の送金口座です。

記号番号で送金の場合：00270-8-105649

店名で送金の場合：ゆうちょ銀行 029 店 105649

加入者名 日本山岳会千葉支部



● 2024 年度関東 4 支部懇談会開催のおしらせ

本年度の関東 4 支部（茨城・栃木・群馬・千葉）懇談会は千葉支部主催で行われます。

日程と場所は下記の通りです。

日時：2024 年 11 月 23 日（土）～24 日（日）

場所：内浦山県民の森

会員・会友のご参加よろしくお願ひいたします。詳細は改めてメール通知します。



● 役員会報告

○6 月報告 6 月 1 9 日（水）甘太郎千葉センシティ店にて（三田、三品、甘楽、小川、平出、渡部、山口、平野、斉藤和、三田芳、宮崎、松田）

◇役員新体制になり対面での役員会を行なった。

◇山行・行事報告 5/24・25 高原山、5/25・26 全国支部懇談会、6/1・2 登山教室、6/15 大平山、6/16 都内W

◇山行・行事予定 クライミング教室、大小山、堂平山、白馬岳ほか

◇報告・検討事項 4 支部懇、袖ヶ中学校支援、山の日ビールパーティー、支部だより

○7 月報告 7 月 17 日（水）リモート（三田、三品、甘楽、小川、平出、渡部、山口、平野、斉藤和、三田芳、今井、松田）

◇4 支部懇の準備について、袖ヶ浦中学校支援、鹿野山古道調査報告

◇山行・行事報告 6/22 クライミング教室、6/29 晴香園・鎌倉アルプス、7/12～14 白馬岳、

◇山行・行事予定 ガイダンス大房山、鳳凰三山、大天井岳、男体山、北穂高、日原鍾乳洞ほか

◇報告・検討事項 4 支部懇、袖ヶ浦中学校支援、初級者講習会、山の日ビールパーティー、公民館で読図講習（市川）

※8 月は役員会中止

● 会員・会友の動向

《入会》

【会友】 E W さん 千葉市

《退任》

【協力委員】 Y M さん

お疲れさまでした。



編集後記；念願の青ヶ島に行ってきました。たまたま、八丈島からのヘリ往復が取れたのです。すぐに八丈島までのフライトと青ヶ島の民宿を押さえました。梅雨時なのでガスが発生して二重カルデラの雄姿を完璧には拝めずじまいでしたが、島の北にある集落から南側の三宝港まで歩き、更には内輪山を一周する遊歩道を楽しみました。次は、トカラ列島、小笠原諸島など等の島旅をゆっくりと楽しもうと企んでいます。
津田沼のヨシキスポーツさんにはSAC教室会場の提供ほか、千葉支部として大変お世話になっています。山用品を購入するときは是非ご利用して頂きたいと思ひます。会員になると割引があります。（小川和敏）